

公表 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	いわき生野学園 キッズ広場とけいワニ		
○保護者評価実施期間	令和 8年 1月 26日 ~ 令和 8年 2月 6日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和 8年 1月 26日 ~ 令和 8年 2月 6日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に 行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	登園時間が長く、毎日通うことができる (土曜日の開園がある)	登園時間が 10:00~16:00(延長支援含む)になるため、送迎を 2 便体制で行っており、就労されているご家族からの預りニーズにも対応できていると思います。	土曜日などには、ご家族(きょうだい含む)と一緒に楽しめる行事を企画してご参加いただき、交流を深めていきたいと思えます。
2	幼児期から成人までの支援体制がある	学園全体として、児童発達支援センターから放課後等デイサービス、そして生活介護及び就労継続支援 B 型まで運営しています。実際、児童発達支援センター卒園後に放課後等デイサービスに通われるお子さまも多くいらっしゃいます。	卒園後も事業を超えた関りが持てるよう、行事などを企画し、交流を深めていきたいと思えます。
3	建物がコンパクトで、動線がとり易い	主に活動しているお部屋からトイレや遊戯室へ行ったり、また園庭にもすぐ出られる部屋もあり、活動しやすい環境にあると思えます。共有部分も事前に調整して使用しています。	もう少し活動できる部屋があれば嬉しいですが、引き続き各クラスで調整して使用していきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や 工夫が必要な点等
1	OT・PT・ST(保育士以外の専門職)について	5 領域に沿った多様な療育を展開していますが、職員がほぼ保育士で構成されているため、もう一歩踏み込んだ支援が難しく感じる場合があります。	より専門的で多角的な支援を行うため、保育士以外の専門職の確保に努めてまいります。
2	児童発達支援センターとしての 中核機能について	児童発達支援センターとして、ここ数年地域保育園との合同行事を実施することが増えてきましたが、まだまだ密なネットワークの構築までには至っていません。また、地域の事業所と関りについてはほぼ関わる機会がない状況にあるように思えます。	中核機能を担う専属の職員の配置は、現段階では難しい状況ですが、児童発達支援センターの求められる姿を再度職員に周知するとともに、地域の部会を通じて、連携がとれるよう努めてまいります。
3			